

解答例

適性検査Ⅰ

1 100点

〔問題1〕 20点

うるしという素材をさわり続けることで、言葉にはならない
ア 真実の世界 を イ 具体的な形と色に置きかえる ことをめざす営み。

〔問題2〕 20点

黒板を使うことで、研究を推し進めることになるだけでなく、
ウ 過去の学者とつながったり、新しいアイデアや考え方につながったりできる から。

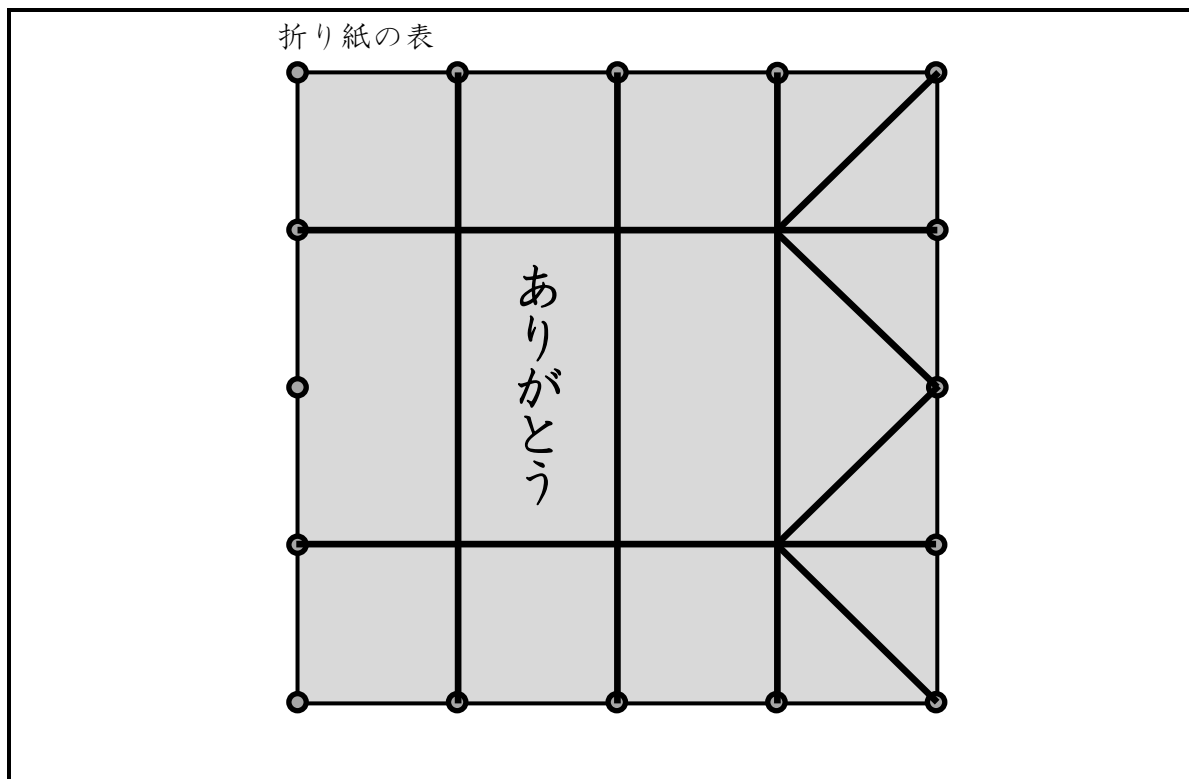
〔問題3〕 60点

(省略)

適性検査Ⅱ

1 30点

〔問題1〕 15点



〔問題2〕 15点

(5円こう貨が1枚^{まい}ではない理由)

お金の入ったば金箱の重さから空のば金箱の重さを引くと、お金だけの重さができる。

$552.64 - 452.14 = 100.5$ である。

5円こう貨だけが1まいあたりの重さの小数第二位の数字が5だが、お金だけの重さの小数第二位の数字は5ではないから。

こう貨	1円	5円	10円	50円	100円
枚数	1枚	4枚	1枚	2枚	15枚

合計の金額

1631

円

2 40点

〔問題1〕 20点

地形に着目すると、鹿児島県の方が静岡県より急けいしゃのわり合が小さく、茶
つみ機が導入しやすいから。また、つみ採り方に着目すると、京都府では、高級茶を
製造するために、今も手づみが行われているから。

〔問題2〕 20点

(1)	<2010年>	2.6	%
	<2024年>	11.8	%

(2) まっ茶に関する日本の文化・歴史を伝えるために、茶道をしょうかいするポ
スターを英語などの様ざまな言語で作成し、駅や観光地と協力して、多くの外
国人がおとずれる場所にけい示する。

3 30点

〔問題1〕 16点

〔ア〜クの中から三つ〕 (ア)(オ)(キ)

〔説明〕 アとオを比べると重い方が着地するまでの時間が短い、オとキを比べ
るとキの方が重いのに着地するまでの時間が同じであるから。

〔問題2〕 14点

種Aの方がおそい 種Bの方がおそい どちらも同じ

〔説明〕 実験3でも実験4でも種をはなしてから100cmまでの落下する様子
は同じなので、実験3と実験4の種をはなしてから着地するまでのきよりの
差と時間の差をそれぞれ求めると、きよりの差は80cmで同じだが時
間の差は種Bの方が長いから。

適性検査Ⅲ

1 50点

〔問題1〕 10点

曲	A	B	C	D	E
得票数 (票)	33	32	31	31	31

〔問題2〕 15点

55	パーセント以上
----	---------

〔問題3〕 10点

曲	A	B	C	D	E
1位の得票数 (票)	22	42	30	28	36
2位の得票数 (票)	25	25	48	25	35
3位の得票数 (票)	25	25	45	30	33

〔問題4〕 15点

98.84	m ²
-------	----------------

2 50点

〔問題1〕 15点

せいれき 西暦	1924	年
------------	------	---

〔問題2〕 15点

$7 \times 8 \times 9 \times 4 + 6 \div 3 + 5 + 2 + 1$

〔問題3〕 20点

ア	8	イ	8
ウ	0	エ	40